

安否確認カードと自主防災組織（令和3年1月）

令和3年1月、下村町内会では、会員の皆様に「安否確認カード」をお届けいたしました。安否確認カードは大きな地震が発生した時に、自分が安全であることを示すために使います。大切に保管してください。

震度5強以上の地震が発生したときに使います。

安否確認カードを使って、ご自分が安全であることを伝えてください

地震発生時に、身の安全を確かめてから、
安否確認カードを玄関先に掲出してください。

- 横浜市内のどこか一ヶ所でも、
震度5強以上の揺れを観測した場合に適用します。
安否確認カードを外から見える場所、玄関先などに出してください。

- 組長（または代理）が、安否確認カードの掲出状況を確認して町内の「災害対策本部」へ連絡します（検討中）

令和3年1月、下村町内会では自主防災組織の結成に向けて準備作業を開始しました。安否確認カードを適切に運用するために自主防災組織に参加してください。

住宅が安全であれば、そのままとどまり、避難所へ行きません。

在宅避難の方も、地域防災拠点で情報・物資の支援を受けられます。

避難行動 下村町内会の避難所は「伊勢山小学校」です。

自宅→いっとき避難場所（〇〇公園）→避難所（地域防災拠点）

住宅に被害があれば、いっとき避難場所へ集合してください。

注 いっとき避難場所は未定です。

横浜市内のどこか一ヶ所でも、震度5強以上の揺れを観測した場合、全ての避難所が開設されます。

安否確認カードは令和元年度に中田連合から提案があり、下村町内会では会長が導入を決めました。当時の防火防犯部が枚数を取りまとめ、令和二年度の広報部が各組ごとに仕分けしました。

下村町内会からは一人の犠牲者も出さない。



町内会の自主防災組織について

自主防災組織の作り方

- 会則を作る＝名称、災害本部の設置場所、経費は町内会が拠出することを明記する。
- 活動計画、組織の概要を決める。

活動計画と組織の案

名称	下村町内会自主防災組織	
組織	本部長 — 副本部長 — 各班班長・班員	
組織	災害時（平常時）の役割	町内会の事業部
総務班	被害・避難状況の把握 要援護者の把握	総務、委嘱委員
情報班	安否確認 報告活動	広報部、企画部
消火班	初期消火（消火訓練）	防火防犯部、体育部
救出救護班	負傷者の救出救護	保健衛生部、体育部
避難誘導班	住民の避難誘導	交通部、街灯部、文化部
給食給水班	水、食料の配分 炊き出し	女性部、福祉厚生部
その他の活動	安否確認作業 災害時要援護者対策	防災訓練 資機材整備

各班班長は町内会の事業部長をあてる。

自主防災組織の重点項目 住民の安否確認 救助と消火 在宅避難者への支援

災害時には自分と家族の安全を確保してください。防災組織の役割分担よりも自分の命を守ることを優先させてください。役割を義務感と捉える必要はありません。地震の揺れで命が助かったとしても、火災などの危険が迫っている場合は身の安全を確保してください。

その後、周囲の人を助けたいと思う方だけが消火、救護などに当たってください。

組長の役割

地震発生時には安否確認カードにより、組内の状況を把握して「災害対策本部」に連絡してください。初期消火、救出救護をし、避難したい人がいれば「いっとき避難場所」へ集合するように案内してください。その後、組を代表して、在宅避難者（災害弱者）の支援物資を物資の集積所に受け取りに行ってください。

自主防災組織各班の活動案

情報班

平常時の活動・・・自主防災組織の内容を町内会員に知らせる。

ヒント＝適切な備蓄を勧める。

災害時の活動・・・安否確認カードによる住民の安全確認

ヒント＝地震が深夜に発生した場合はどうするか考える。

消火班

平常時の活動・・・消火器の使い方の消火訓練。スタンドパイプ式消火設備の導入など

ヒント＝消火器はどこにあるのかを調べる。消火器を持っている家庭は地震の際には玄関先に出してもらおう。アパートやマンションに備えてある消火器を使わせてもらおう（この場合は管理会社との協議が必要です）。

災害時の活動・・・初期消火をおこなう。消防に連絡する。

ヒント＝消火器を使わなくても「火事だ」と大声で叫ぶだけでも十分です。

救出救護班

平常時の活動・・・応急処置の訓練。AEDの使い方の訓練。資機材の整備。

災害時の活動・・・救出救護活動。負傷者を提携病院へ搬送する。

ヒント＝医院、診療所と災害時の提携をする。

避難誘導班

平常時の活動・・・いっとき避難場所を決める。避難ルートを作成する。

ヒント＝いっとき避難場所は公園、マンションや事業所の駐車場も活用する（この場合は相手先との協議が必要です）。

災害時の活動・・・避難所に避難したい人を誘導する。火災が迫っている時に広域避難場所へ誘導する。

給食給水班

平常時の活動・・・各家庭に適切な備蓄を勧める。炊き出し訓練をおこなう。

ヒント＝町内会では食料の備蓄はしない。

災害時の活動・・・炊き出し。地域防災拠点から救援物資を受け取り必要な人に配分する。

災害時要援護者対策・・・災害時には、誰が、誰を支援するのかを決める。